



牛ウイルス性下痢（BVD） バルク乳検査のお知らせ



牛ウイルス性下痢（BVD）の清浄化のため、令和7年度もバルク乳検査を実施します。

**申込方法：所属している各酪農農業協同組合及び
各農業協同組合へ申請**

※組合に所属していない場合は南部家畜保健衛生所に申請してください。

検査回数：1回実施（8月の予定）

検査料金：無料

検査

検査の流れ

・
検査申請

・
申請締め切り

・
採材日
採材方法
のおしらせ
※

・
採材

・
検査

※採材方法は出荷CSによって異なります。
申請者には、検査日・採材方法を改めてお知らせします。

・バルク乳検査は搾乳している牛が対象です。乾乳牛、育成牛、子牛の検査はできないため、本検査以外に検査を希望する場合は南部家畜保健衛生所までご相談ください。※検査機関は下記のとおり【有料】

○民間検査会社（日本動物特殊診断（株）、（株）家畜健康管理HALC、全農クリニックセンター 他）

○南部家畜保健衛生所 検査結果判明まで1~2週間程度要する場合があります。（有料）

千葉県南部家畜保健衛生所 TEL 04-7092-2304 FAX 04-7092-1434

※急性悪性家畜伝染病（口蹄疫等）の早期対応のため、疑わしい症状があれば速やかに連絡してください。

※休日、夜間は転送されますので必ず5回以上のコールをお願いします。

(参考) BVDバルク乳検査の流れ

① 検査希望調査

農場から所属する生乳出荷組合へ希望の有無を連絡



生乳出荷組合が希望農場を取りまとめて家畜保健衛生所へ申請

② バルク乳検査（無料）：令和7年8月頃予定

※バルク乳の採材方法・日時は出荷先クーラーステーションにより異なりますので、
詳細が決まり次第お知らせします。

バルク乳陽性



③ 清浄性確認検査

採血・耳片採取による全頭検査（無料）

陽性牛



3週間以上の間隔をあけ再検査



2回目 陽性



PI牛

PI牛が確認された場合、以下の清浄化計画を実施

④ PI牛の自主的とう汰（※と畜場・市場への出荷×）

⑤ 新生子牛の追跡検査（10か月間）

⑥ 全飼養牛のPI牛確認検査 ※上記③で未実施の牛(下牧牛等) →陽性牛は3週間以上間隔あけ、再度検査を行いPI牛の判定